

TOUR DE HOKKAIDO 2007 NEWS

第5ステージ 2007年9月16日発行

個人区間順位

順位	名前	チーム	タイム
1	ダレン・ラプトーン	オーストラリア	4:34:31
2	ヘンリ・ヴェルネル	ド イ ツ	+ 0:00
3	スチュアート・ショウ	オーストラリア	+ 0:39
4	西谷 泰治	愛三工業	+ 0:39
5	ライ・クアンファ	チャイニーズタイペイ	+ 0:39
6	マーク・オブライエン	オーストラリア	+ 0:39

個人ポイント賞順位

順位	名前	チーム	ポイント
1	ヘンリ・ヴェルネル	ド イ ツ	73
2	宮澤 崇史	NIPPO梅丹	64
3	新城 幸也	NIPPO梅丹	53
4	飯島 誠	プリチストン・アンカー	52
5	ミッチェル・ドッカー	オーストラリア	51
6	ダレン・ラプトーン	オーストラリア	48

団体総合順位

順位	チーム名	タイム
1	オーストラリア	47:30:08
2	NIPPO梅丹	+9:03
3	プリチストン・アンカー	+16:28
4	ミヤ タ	+17:44
5	シマ ノ	+34:57
6	イ ラ ン	+44:47

個人総合時間順位

順位	名前	チーム	タイム
1	ヘンリ・ヴェルネル	ド イ ツ	15:48:30
2	ダレン・ラプトーン	オーストラリア	+ 0:07
3	新城 幸也	NIPPO梅丹	+ 0:16
4	飯島 誠	プリチストン・アンカー	+ 0:54
5	土井 雪広	シマ ノ	+ 1:00
6	ホセン・アスカリ	イ ラ ン	+ 1:10

個人山岳賞順位

順位	名前	チーム	ポイント
1	土井 雪広	シマ ノ	33
2	増田 成幸	ミヤ タ	27
3	スチュアート・ショウ	オーストラリア	15
4	別府 匠	愛三工業	10
5	メディ・ソウラビ	イ ラ ン	10
6	ヘンリ・ヴェルネル	ド イ ツ	9

テキストライブ配信中!

ツール・ド・北海道のレースの様子をテキストライブで配信中。携帯からも閲覧できます。



PC: <http://www.cyclingtime.com>
携帯: <http://mobile.cyclingtime.com>



5th Stage 最難関ステージで繰り上げられた逆転劇。ヴェルネル再びリーダーに

第5ステージは、室蘭市入江運動公園をスタートし、この大会の最高地点、オロフレ峠と3つの峠を越えて札幌市真駒内屋外競技場にゴールする 172km。厳しい山岳コースであり、最後の勝負どころでもある。

スタート後のアタック合戦の中から8人の逃げが決まる。逃げ集団の中では個人総合で4分15秒遅れの15位にいるスチュアート・ショウ（オーストラリア）が最上位であったため、逃げは容認された。タイム差は最大2分50秒まで開く。

1回目のKOM オロフレ峠で先頭から1人でアタックをかけた別府匠（愛三工業）がトップで通過。山岳賞ジャージの土井雪広（シマノ）とそれを逆転したい増田成幸（ミヤタ）など9人が追う。ここは土井が先行し、増田の逆転を阻止した。このオロフレ峠の途中で個人総合2位、



オーストラリアチャンピオンのダレン・ラプトーンがステージ優勝。2位にヘンリ・ヴェルネル（ドイツ）ポイント賞ジャージを着る宮澤崇史（NIPPO 梅丹）と団体総合時間賞がかかっているミヤタの鈴木真理、鈴木譲が遅れてしまう。

下りに入り、逃げとメイン集団がひとつになる。25人のメイン集団の中から、個人総合での逆転を狙える狩野智也

（シマノ）、続いて土井がアタックするものの、決定的な逃げにはならない。集団には、リーダージャージの新城のほか、個人総合3位のヘンリ・ヴェルネル（ドイツ）、オーストラリアチャンピオンのダレン・ラプトーンなど、トップとの差が1分以内の選手が含まれている。

支笏湖畔、2回目のホットスポットでラプトーンとヴェルネルの2人が抜け出しボーナスタイムを獲得。このあと個人総合リーダー擁するNIPPO 梅丹が必死の追撃をするも、タイム差をつめられず、ラプトーンとヴェルネルが後続に39秒の差をつけてゴールした。

新城は8位でのフィニッシュとなり、グリーンジャージは新城からヴェルネルに渡り、ポイント賞もヴェルネルが首位に。また、団体総合時間賞1位はオーストラリアとなった。

Next Stage 最終日、モエレ沼公園クリテリウムですべてが決まる

明日は2年ぶりにモエレ沼公園でのクリテリウム。これまでと違うコース設定になり、公園の西側を時計回りに2.75kmを22周する。

明日のレースの見どころは、6周目以降、4周回ごと、4回設定されているホットスポットとフィニッシュだ。それぞれの通過順位により、ポイントとボーナスタイムが設定されている。

まず、個人総合争いでは2位につけているダレン・ラプトーン（オーストラリア）がすべてをトップで通過し、ヘンリ・ヴェルネル（ドイツ）が2位となった場合、8秒のボーナスタイムが発生して、個人総合時間賞が逆転する。しかし、ヴェル

ネルはポイント賞でもトップに立っているだけに、ラプトーンが逆転するのは困難かもしれない。

一方、ポイント賞でもヴェルネルと宮澤崇史（NIPPO 梅丹）との差が9点。もしすべてで宮澤がトップ通過、ヴェルネルが2位通過となった場合、13点の差がつき、こちらも逆転が可能だ。

つまり総合優勝とポイント賞の行方は最後までわからない。そしてステージ優勝を誰がするかも注目だ。

また、レース後には大会関係者によるツール・ド・フェスティバルが開催される。このレースを運営してきたスタッフやコミッサー、チームスタッフによるお楽し

みレース。本気モードの人、コスプレで登場する人など様々なスタイルで走る。観客の皆様も一緒にお楽しみください。



北海道美幌町出身の松田究（早稲田大学）が、第5ステージのU23最高位となった



TOUR DE HOKKAIDO

<http://www.tour-de-hokkaido.or.jp>